

令和6年教育委員会第8回定例会会議録

開会日時 令和6年8月7日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 11時43分

場 所 705・706 会議室

出席委員 教育長 小花 高子
同職務代理者 谷 部 憲 子
委 員 井 口 信 二
委 員 上 原 有美江
委 員 壺 内 明
委 員 田 中 健

議場出席委員

・教育次長	中島 俊一	・学校教育担当部長	山梨 智弘
・教育総務課長	山崎 淳	・学校環境整備担当課長 兼 学校施設担当課長	尾崎 隆夫
・学務課長	羽田 顕	・教育指導課長	谷合みやこ
・学校教育推進担当課長	江川 泰輔	・総合教育センター教育支援課長	二ノ宮 正信
・総合教育センター管理担当課長	土居 真喜	・統括指導主事	青木 大輔
・統括指導主事	田辺 留美子	・地域教育課長 兼 放課後支援課長	高橋 裕之
・生涯学習課長	柏原 正彦	・生涯スポーツ課長	宮木 亮
・中央図書館長	新井 秀成	・副参事（法規担当）	小山 利之

書記 ・教育企画係長 大石 睦貴

開会宣言 教育長 小花 高子 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花 高子 委員 谷部 憲子 委員 井口 信二
以上の委員3名を指定する。

開会時刻 10時00分

○**教育長** おはようございます。それでは、出席委員は定足数に達しておりますので、令和6年教育委員会第8回定例会を開催いたします。

本日の議事録の署名は、私に加え、谷部委員と井口委員をお願いいたします。

まず、本日27名の傍聴の申出がありました。葛飾区教育委員会傍聴規則第4条第1項本文の規定により、傍聴人の定員は10名となっておりますが、同項ただし書の規定により定員を30名に変更しております。本日は全員の傍聴を許可したいと思います。

それでは、傍聴人にお入りいただきます。

(傍聴人 入場)

○**教育長** 教育長から傍聴人の方に申し上げます。葛飾区教育委員会傍聴規則等の規定により、傍聴人は次の事項を守ってください。

1 傍聴人は委員会の中では発言できません。

2 傍聴人は、静粛を旨とし、委員の言論に対して拍手など賛否を表すようなことはおやめください。

3 傍聴人は、写真撮影、録画、録音を行わないでください。なお、携帯電話の電源はお切りください。

4 傍聴人は、その他会議の妨げとなるような行為をしないでください。

なお、傍聴人にこれらの規則等に反する行為があった場合は、退席していただくことになりますので、よろしくお願いします。

それでは、議事に入ります。本日は議案等が1件でございます。

議案第50号「令和7年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」を上程いたします。

教育指導課長。

○**教育指導課長** それでは、私から議案第50号「令和7年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」のご説明を申し上げます。

提案理由といたしましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定に基づきまして、令和7年度使用の義務教育諸学校の教科用図書を採択する必要がございますので、本案を提出いたします。今年度は、令和7年度より使用いたします中学校教科用図書の採択の年に当たります。葛飾区中学校教科用図書検討委員会の調査報告書等を参考にご審議いただき、採択の決定をお願いいたします。

○**教育長** 議案第50号「令和7年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」の審議に入ります。

7月16日に葛飾区中学校教科用図書検討委員会から、令和7年度使用中学校教科用図書調査

研究報告書が教育委員会に提出されました。これらのものを踏まえまして、本日の教育委員会では、国の検定を受けた教科用図書の中から、本区で使用する教科用図書を採択していくこととなります。

まず初めに、私から全体に関わることについて述べさせていただきます。前回、令和2年度の教科書採択は、学習指導要領が改訂されて最初の教科書採択でした。ポイントといたしましては、生徒が、何ができるようになるのか、育てたい資質・能力を明確にし、どのように学ぶか、主体的・対話的で深い学びへと学習方法の改善が重要であることが示されておりました。

こうしたポイントが重視されるとともに、それぞれの教科で活動を通して学ぶという観点を大切に、その教科の見方・考え方を育てることが重要でございます。それらを踏まえ、葛飾の子どもたちにふさわしい教科書を選定してまいりたいと思います。

初めに、検討委員会で話題となりました内容と一般展示の状況について、事務局から報告をお願いします。

教育指導課長。

○教育指導課長 検討委員会は、調査委員会からの調査研究の報告を受けまして、さらに教科用図書の内容について検討する組織でございます。調査委員会は、中学校校長・副校長等のうちから、教育委員会が任命する委員で構成しております。調査委員会では、教科用図書の内容について研究いたしますとともに、各校からのご意見など報告内容を検討いたしました上で、検討委員会に報告をしております。

調査委員会の報告を受けて開催された検討委員会では、今日的な教育課題の取り上げ方、教科書の扱い方等について、委員の皆様それぞれのお立場から熱心な検討が行われました。結果につきましては、報告書として既にご覧いただいているとおりでございます。

一般展示につきましては、総合教育センター、カナマチぷらっと、にこわ新小岩の3カ所で区民の皆様を対象に5月31日から7月3日まで行いました。各展示会場におきまして、アンケートを提出していただきました人数は38名となっております。

以上でございます。

○教育長 それでは、ただいまの報告についても加味して、委員のご意見をお伺いしながら、採択する教科書を決定してまいりたいと思います。

国語から審議をしてまいります。国語につきましては、現在は光村図書出版を採択しておりますが、前回の教科書採択での採択理由について、まず教育指導課長から説明をしてください。

教育指導課長。

○教育指導課長 前回の採択理由についてご説明いたします。学習の流れが見開き2ページで示され、読みのポイントが説明され、学習の窓を活用しながら主体的・対話的な学習ができるようになっていること。系統立てて情報の扱いに関連する教材を設けることで、論理的な考え

方を分かりやすく伝える力を身につけられるようになっていること。2次元コードから教材を執筆した小説家や研究者のインタビュー動画を見ることができ、教材への興味関心を高め、学習を深められるようになっていること。この3点が採択の理由として確認をいたしております。

以上でございます。

○**教育長** それでは、ここから委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

上原委員。

○**上原委員** 基礎・基本の定着のための工夫が大切であると考えます。教育出版は、各教材の最初に「学びナビ」によって既習事項の確認、それから学習の流れやポイント、基本的な内容の捉え方についてまとめてあると考えます。また、光村図書出版は、各教材の最後に「学びのカギ」によって、その単元の学習で身につけるべきポイントについて簡潔にまとめてあるように思われました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

井口委員。

○**井口委員** 各社2次元コードによるデジタルコンテンツの掲載が充実してきていますが、より活用しやすい工夫がされることが望ましいと考えます。東京書籍は、巻末の「言葉の力一覧」に2次元コードが掲載されており、三省堂は、巻末の「読み方を学ぼう一覧」に2次元コードが掲載されています。光村図書は、巻末の「ICT活用のヒント」に2次元コードが掲載されています。それぞれ実用性が高くなっています。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

田中委員。

○**田中委員** 私は、学習指導要領の中学2年生の指導内容に入ってもおりますが、論理的な思考力を育成する教材という点に着目いたしました。思考方法や思考ツールが他教科でも活用できるような形に掲載されているという点で、三省堂さんにつきまして、各学年の折り込み教材で「思考の方法」として様々な思考方法を図と使い方の例で説明していて、使いやすいと思いました。また、光村図書出版さんにおきましては、各学年の折り込み教材で「思考の地図」として、場面や目的に応じた思考方法を紹介しており、使いやすいと感じました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 文学的文章の読み取りはもちろん、数学の文章題のように論理的文章を読み解く力が他教科でも必要とされていますので、文学的文章と説明的文章の取扱いのバランスが大変重要であります。光村図書出版は、文学的文章と説明的文章の文種別作品数がほぼ同数、文学的27編、説明的が26編となっており、どちらもバランスよく学習できる工夫がなされており

ます。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 思考力、判断力、表現力を育成し、実践することができる、「話すこと・聞くこと」の教材は重要と考えます。光村図書出版は、話す活動、聞く活動、話し合う活動を採り入れた教材の数が一番多く、生徒の力を高めることができると感じました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

井口委員。

○**井口委員** 光村図書出版は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域ごとの単元数の割合でも、「話すこと・聞くこと」の割合が4社で唯一20%を超えています。このことから、「話すこと・聞くこと」に力を入れていることが分かりました。

○**教育長** 私からも、少し意見を述べさせていただきたいと思います。国語科におきましては、まず文章に触れ、問われていることや、教材から感じたことを考えるなど、生徒が主体的に学習することが大切であり、そのような学習ができる教科書がよいと考えています。そのことからいたしますと、光村図書出版の「学びのカギ」というものは、教材の後に掲載されておりますので、事前の情報量が多過ぎず、主体的な学びの工夫があるのではないかと感じております。

これまでの委員の皆様からのご意見からいたしますと、光村図書出版を支持するご意見が多いようでございますので、国語につきましては光村図書出版を採択することとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** それでは、国語につきましては、光村図書出版を採択することといたします。

続きまして、書写について審議をいたします。書写につきましては、現在、光村図書出版を採択しております。前回の教科書採択での採択理由について、教育指導課長から説明をしてください。

教育指導課長。

○**教育指導課長** 前回の採択理由についてご説明いたします。学習の進め方が分かりやすく示され、学習のポイントが説明されている「学習の窓」を活用しながら、主体的に学ぶことができるようになってきていること。見開き2ページを使いまして、半紙原寸大の手本を掲載し、大きく分かりやすい教材文字を見ながら、書き方を学べるようになってきていること。毛筆教材のページごとに2次元コードが掲載されており、動画を見て筆遣いを確認しながら、文字の書き方を学ぶことができるようになってきていること。これらが前回の採択理由でございます。

以上でございます。

○**教育長** それでは、委員の皆様からご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

か。

井口委員。

○井口委員 小学校からの接続という意味でも、小学校での既習内容が巻頭にまとめられていることが必須であります。全ての教科書会社で巻頭に小学校での既習内容である、書くときの姿勢や道具の使い方、基本的な筆遣いについてまとめられています。東京書籍、三省堂、光村図書出版は、2次元コードによって動画でもこのことが確認できるようになっています。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 毛筆の際、そのまま手本として使えるような工夫がなされていることが大変望ましいと考えています。全ての教科書会社の毛筆の手本が半紙原寸大で掲載されているため、そのままお手本として使うことができます。東京書籍、三省堂、光村図書出版はコンパクトなB5サイズのため、手本として使う際に、邪魔にはなりません。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

田中委員。

○田中委員 書写においては、生徒に手本を見せるというところが大事ななと思っておりますが、書写が得意な教員ばかりではございません。そういう状況を踏まえますと、動画で手本を示してくれているデジタルコンテンツというのは、書写の授業においてもかなり有効であるかなと考えております。こちらの全ての教科書会社さんにおきまして、毛筆の手本のページに2次元コードがあり、動画で筆の使い方を見るということが可能となっております。その中でも、光村図書出版さんにおきましては、デジタルコンテンツ掲載数が463点と非常に多く、また筆遣いでは2アングルを組み合わせたものになっており、充実していると考えました。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 光村図書出版は、字のポイントや書き込んで練習できるスペースをまとめたものが「書写ブック」として別冊教材になっています。教科書との併用や他教科での活用がしやすくなるように工夫をされているのではないかと考えます。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 私は、デジタルが普及している中で、手書きのよさについて生徒に考えさせる教材は大切であるのではないかと考えました。光村図書出版は、見開き2ページのまんが教材「手書きのよさって、何だろう」によって、書写の学習において大切な手書きのよさについて分かりやすく伝えていると感じました。

○教育長 私からも、少し申し上げたいと思います。正しく文字を書くということももちろん

大変重要なことではありますけれども、その人らしい文字を肯定することも一方では個性の受容、伸長につながるのではないかと考えております。光村図書出版につきましては、コラムで「自分らしい文字」というところがございまして、書き手それぞれの個性ある字体を紹介することにより、書く人によって異なる味わいがあることも伝えているということは評価できるのではないかと考えております。

委員の皆様のご意見からいたしますと、光村図書出版をご支持のご意見が多いようでございます。書写につきましては、光村図書出版を採択することといたしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** それでは、書写につきましては、光村図書出版を採択することといたします。

それでは次に、地理について審議をしてみたいと思います。社会地理につきましては、現在教育出版を採択しております。前回の教科書採択の採択理由を教育指導課長から説明をしてください。

教育指導課長。

○**教育指導課長** それでは、ご説明いたします。領土について扱う単元におきまして、日本全国のイラストが記載され、その中で、領土・領海・排他的経済水域が明記されていること。ハザードマップについての記載が充実しており、地域調査の単元でも河川の氾濫が取り上げられているため、葛飾区の生徒も身近な課題として認識し、学習に取り組めるようになっていること。世界の州における自然環境で、各州の地図が大きく掲載され、取り上げられている国名数が多いということ。以上が、前回の採択理由でございます。

以上でございます。

○**教育長** それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思っております。いかがでしょうか。

井口委員。

○**井口委員** 学習の構造化と焦点化においては、1単位時間の授業で、学習課題・学習活動が示され、学習に見通しを持って取り組むことができるのは、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版であります。

○**教育長** 田中委員。

○**田中委員** 私からは、東京書籍さん、教育出版さん、帝国書院さんについて単元によっては章末に学習した内容や、地理的な見方・考え方を生かして取り組むページが設けられており、より学習を深められる構成になっていると考えました。

○**教育長** 壺内委員。

○**壺内委員** 防災学習の視点から見ますと、東京書籍、教育出版は防災や自然災害時における関係機関の役割等について、本文・写真・地図・コラム等に多く記載されています。

○**教育長** 上原委員。

○上原委員 日本文教出版さんは、関東地方の学習において荒川のスーパー堤防や排水機場を扱っておりまして、葛飾区の生徒も身近な課題として認識して、学習に取り組みやすいのではないかと考えます。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 私も、防災教育は大切だと考えます。教育出版は、ハザードマップについて多く扱っており、「地域調査の方法を学ぼう」では、河川の氾濫が取り上げられているため、葛飾区の生徒も身近な課題と認識して学習に取り組みやすいと感じました。

○教育長 その他の観点では、いかがでございましょうか。

井口委員。

○井口委員 歴史的分野との連動性について考えてみた場合、歴史的分野との関連をはじめ、ページの左下または右上に関連項目を記載しているのは、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版でありました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

田中委員。

○田中委員 私もその歴史的分野との連動性という意味で、教育出版さんにおきましては、巻頭で各分野の学習の関連性について記載がありました。これによって関連項目の必要性について、分かるようになっておりました。

○教育長 防災教育、歴史的分野との連動性などに、特にその辺りでは、委員の皆様から教育出版についてのご支持のご意見が多いようでございますけれども、社会地理につきましては、教育出版を採択するということがいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 よろしいでしょうか。それでは、社会地理につきましては、教育出版を採択することといたします。

続きまして、次に社会歴史について審議を進めてまいります。歴史につきましては、現在、教育出版を採択しておりますが、前回の教科書採択での採択理由を教育指導課長から説明をしてください。

教育指導課長。

○教育指導課長 それでは、ご説明いたします。1単位時間ごとに狙いとまとめが設定されており、学習の振り返りでは、「確認」「表現」で知識の定着と発展的に扱う内容が記載されていること。領土について、歴史的背景が具体的に分かりやすく掲載されていること。年表につきましては、見開きページの左側に横軸で記載され、時代の流れを把握できるように工夫されていること。以上が、前回の採択理由でございます。

以上でございます。

○教育長 それでは、委員の皆様の意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 私は、歴史的分野の学習の構造と焦点化というところから考えさせていただきました。1単位時間の授業で、学習に見通しを持って取り組むことができるのは、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、育鵬社さんだと感じました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 1単位時間の授業で、学習したことを基に新たに考え、説明する学習が記載されているのは、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、育鵬社であります。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

井口委員。

○井口委員 私は、学習への導入・まとめの仕方について見てみました。教育出版、日本文教出版、育鵬社は、各章の導入時に見開きで大判の資料が掲示されています。また、資料の読み解きを通して、生徒にとって興味・関心の持てる内容であります。また、教師にとってもスムーズな導入につなげやすいのではないかと考えました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

田中委員。

○田中委員 私も学習のまとめについて申し上げたいと思います。そこについて印象にあったのが、東京書籍さん、教育出版さん、帝国書院さん、日本文教出版さん、こちらの教科書におきまして、各章末に歴史的な見方・考え方を生かして学習を振り返る問いがありまして、生徒にとって、振り返り学習に取り組みやすいようになっていると考えました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 私は、年表の取扱いについて考えました。山川出版は、各章の冒頭に見開きで、歴史年表を掲載していて、生徒が各章で取り上げる内容について、見通しが持ちやすいと感じました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 教育出版の巻末の歴史年表は、見開きで原始から現代までの日本と世界の主な出来事を概観することができ、歴史的分野の学習を進める一助となっております。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 私は、歴史を学ぶ上で、年表はすごく大切だと考えております。壺内委員がおっしゃったように、原始から現代まで全部が一覧で載っているというのはすごく大事であると考えます。教育出版は、それだけではなくて、見開きのページの左側、学習課題上部に横軸で年表のスケールを記載しておりまして、生徒は時代の流れを把握しやすいのではないかなと考えます。

○教育長 これまでの各委員の皆様のご意見を総合いたしますと、教育出版とのご意見が多いようでございますけれども、社会歴史につきましては、教育出版を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、社会歴史につきましては、教育出版を採択することといたします。

次に、社会公民の審議をいたします。公民につきましては、現在、東京書籍を採択しております。前回の教科書採択での採択理由を、教育指導課長から説明をしてください。

教育指導課長。

○教育指導課長 ご説明いたします。主権者教育におきまして、本文中に中学3年生に向けた呼びかけを掲載し、生徒が当事者意識を持って学習に取り組めるように工夫していること。性の多様性について、生徒が自分自身のこととして自ら考え・学んでいくことができるよう、S O G I (ソジ) などの記載があること。思考のフローチャートを活用した振り返りを設定し、多様な方法でまとめる学習に取り組むことができること。以上が、前回の採択理由でございます。

以上でございます。

○教育長 それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

田中委員。

○田中委員 私は、まず日本国憲法についての記載が重要かなと思っております。そこにつきましては、東京書籍さん、教育出版さん、帝国書院さん、日本文教出版さん、自由社さん、育鵬社さんの全ての教科書会社さんにおきまして、憲法の掲載がございましたので、私の観点としては満たしていると考えました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 私も、東京書籍さん、教育出版、帝国書院さんは2次元コードから憲法の前文やその他の諸法令にアクセスし、参照することができます。今から、こういった方法で法律に親しむということはとても大切ではないかと考えます。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 私は、現代社会の見方・考え方を働かせる取組について考えました。1 単位時間の学習の狙いに対応する振り返りの設問があり、生徒の学習内容の定着を図る工夫が見られるのは、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、育鵬社であると感じました。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 学習の過程で、現代社会の見方・考え方を働かせる場面が生徒にとって分かりやすく示されているのは、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、育鵬社であります。

○教育長 それぞれの出版社ごとに大変よいところがあるというご意見が続いております。

私から、少し申し上げたいと思います。私は、主権者教育も大変重要であると考えておりまして、生徒が当事者意識を持てるように、東京書籍におきましては「18 歳へのステップ」、また帝国書院は「18 歳への準備」というようなものを掲載しておりました。特にこの点についてより詳しく取り上げているところは、生徒にとりましては重要なことであると私としては捉えているところでございます。

ほかにはいかがでしょうか。

井口委員。

○井口委員 私は、現代的な諸課題の解決に取り組む態度の育成という視点で見ってみました。東京書籍は、現代的な諸課題の解決に取り組む態度の育成のために、五つのテーマを設定した上で、特設のページを各章に設けております。このことは、生徒が考えを深めることがとてもやりやすくなっているように感じました。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

田中委員。

○田中委員 私も、和平とか課題について考えるという機会が大事かなと思っておりまして、東京書籍さんにおきまして、現代社会における具体的な事実、事件の課題を取り上げる箇所が非常に多く、こちらが生徒の考える機会を与えていくのではないかと思います。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ここまでの委員の皆様のご意見を総合的に勘案いたしますと、東京書籍を支持するご意見が多いようでございます。社会公民につきましては、東京書籍を採択することといたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、公民につきましては、東京書籍を採択することといたします。

続いて、地図について審議をまいります。地図につきましては、現在、帝国書院を採択しております。前回の教科書採択での採択理由を教育指導課長から説明してください。

教育指導課長。

○**教育指導課長** ご説明いたします。色合いに工夫があり、見やすく、生徒にとって地形をイメージしやすいこと。また、鳥瞰図等の地図の掲載数が多く、読図力を身につけるための資料が充実していること。索引に掲載されている世界と日本の地名数が多く、資料として活用できること。そして、巻頭にある地図帳の凡例や使い方のページが詳しく掲載され、地図中の「地図活用」を使用しながら地図の活用について学ぶことができること。これらが、前回の採択理由でございます。

以上でございます。

○**教育長** それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

井口委員。

○**井口委員** まず、最も大事な地図としての見やすさ・扱いやすさという点で見ますと、東京書籍はA4版に大きくなり、同じ縮尺で記載された地図はより周辺まで広く見るできるようになっています。また、統計ページの人口構成割合が視覚的に分かりやすく工夫されていると感じました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 私も地図としての見やすさについてですが、帝国書院は鳥瞰図の掲載が多く、地図をよりイメージしやすく、読図力を身につける資料が充実していると感じました。

○**教育長** ほかにご意見ございますか。

田中委員。

○**田中委員** 私は、葛飾区で使用する教科書ということに着目しました。東京書籍さん、帝国書院さんどちらの教科書におきましても、東京都の地図の中に葛飾区の史跡を取り上げていただいております。また、帝国書院さんにおきましては、そもそも索引に掲載されている地名数が世界・日本ともに多く、さらに葛飾区が索引にもしっかり記載されているというのは、一つポイントになるかなと思いました。

○**教育長** ありがとうございます。地図につきまして、私は現代的な諸課題の取扱いという観点で、少し申し上げたいと思います。帝国書院につきましては、「地図で考える持続可能な社会」というところを設定しております、読図の学習を通して、具体的に現代的な諸課題について考えることができるようになって見えております。

ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 東京書籍は、各ページに読図のヒントとなる「B e e' s e y e」、帝国書院は日本・世界のページに「地図で発見」を、資料ページには主題学習を設定しており、それぞれ学習が深まるように工夫してあります。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 帝国書院さんは、アジア州のページに「大陸から見た日本」が掲載されております。アジア州の地政学の観点から、現代的な諸課題を考えられるようになってきているなど実感いたしました。

○教育長 その他、ご意見はございますでしょうか。

井口委員。

○井口委員 帝国書院は、世界遺産・環境・文化歴史・その他の記号を、世界と日本で分けて表記しています。より詳しく記載されていて、生徒にとって分かりやすくなっているように感じました。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 帝国書院は、世界の統計を正式国名で使用しており、資料として分かりやすいと感じました。

○教育長 ほかにご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ここまでの委員の皆様のご意見からいたしますと、帝国書院について支持するご意見が多いようでございます。地図につきましては、帝国書院を採択することとしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、地図につきましては、帝国書院を採択することといたします。

次に、数学について審議をしております。数学につきましては、現在、東京書籍を採択しております。前回の教科書採択での採択理由を教育指導課長から説明をしてください。

教育指導課長。

○教育指導課長 ご説明いたします。学習課題が明確であり、何ができるようになるかを生徒自身が理解し、学習に向かうことができること。ヒントの提示やキャラクターの扱い方が精選されており、生徒が自分で考えて学習することができること。1年生の始めの単元を通して、数学の学び方を理解できるように扱っており、学力の定着及び小中連携教育の推進という区の施策とつながること。これからの前回の採択理由でございました。

なお、附則でございますが、令和6年4月に文部科学省が示しました令和7年度使用中学校用教科書目録に掲載された数学の教科書のうち、大日本図書につきましては、令和2年に検定済みとなった教科書でございます。

以上でございます。

○教育長 それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思っております。いかがでしょうか。

田中委員。

○田中委員 私からは、小学校の算数から中学校の数学に移行するということで、小学校から中学校の学習がスムーズに接続されるといいなと考えております。こちらにつきましては、各社さんにおいて、数国の学びの入り口でつまづかないように、巻頭に数学の学び方を示しておられました。中でも、東京書籍さんにおきましては、「0章」としまして算数から数学へという章を設けておられました。こちらによって、算数、数学のギャップによる不安を解消し、小中の円滑な接続が図られるよう工夫が見られました。

○教育長 数学につきましては、私からも少し申し上げたいと思います。数学の教科書につきましては、各社とも「学習課題」、そして「めあて」「まとめ」がございまして、葛飾教師の授業スタンダードに沿った学習の流れになっておりまして、生徒自ら問題を発見し、解決し、深める力がつくよう各社とも工夫されていると見ておりますが、この点についてご意見はございますでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 初出用語、初めて出る用語やポイントになる学習内容を見やすく示すような教科書のレイアウトも大事だと考えています。各社工夫されておりますが、その中でも、啓林館、日本文教出版は初出用語や定義などが、箇所の背景に色がついていて、見やすく分かりやすいと感じました。さらに、啓林館は、授業中に取り組む必須部分について丁寧に解説されており、基礎・基本を確実に身につけられ、生徒が主体的に学習に向かうことができるようになっていると感じました。

○教育長 また、2次元コードの活用につきましても、私も見させていただいたところですが、各社ともタブレット端末が活用できる2次元コードがあつて、図形・データ分析・シミュレーションや解説動画が視聴できるような工夫がされておりました。この点についてご意見はございますでしょうか。

○教育長 壺内委員。

○壺内委員 学習への思考が途切れないためには、2次元コードの内容をスムーズに確認することができるが大変よいと考えています。学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版社は、2次元コード付近にどのような内容を見ることができるのか、タイトルが記載してありまして、生徒が読み取る前に内容を確認することができるようになっていきます。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 すぐに見たいという画面に移ることも非常に大事な視点であると思います。東京書籍さんは、2次元コードを読み取りますと、一度目次につながりまして、生徒が改めてコンテンツを選択するようになっておりました。一手間かかってしまうということがあります。し

かし、学校図書さんや教育出版、啓林館、数研出版さん、日本文教出版社さんは教科書の2次元コードから動画の画面に直接つながりまして、生徒がすぐに見られるような工夫がしてあるなど実感いたしました。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。

井口委員。

○**井口委員** 私もその点についてですが、啓林館の教科書は、2次元コードから解説動画を直接見ることができるようになっていきます。生徒が理解できるように丁寧に説明されているため、授業だけでなく自学・自習にも役立ち、家庭での学習サポートにつながるのではないのでしょうか。とてもよいことだと思います。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。

上原委員。

○**上原委員** 葛飾区においても、不登校の生徒が増えているという状況があります。区内中学校では、校内サポートルームの整備を行っていますが、授業を受けることができない生徒への学習支援としても、啓林館さんの解説動画は有効だと考えます。

また、なお区内の中学校に在籍する外国籍の生徒が非常に増えており、対応が求められていると感じます。啓林館には、教科書を多言語に表示できるアプリケーションが準備されているとのことで、啓林館が採択される場合は、アプリケーションを活用することも検討していく必要があると考えております。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

これまでの委員の皆様のご意見を総合いたしますと、啓林館を支持するお声が多いようでございます。数学につきましては、啓林館を採択することとしたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** それでは、数学につきましては、啓林館を採択することといたします。

続きまして、理科について審議を進めてまいります。理科につきましては、現在、東京書籍を採択しております。前回の教科書採択での採択理由を教育指導課長から説明してください。

教育指導課長。

○**教育指導課長** ご説明申し上げます。学習内容が見開きで示され、ページのレイアウトがパターン化されており、生徒が主体的に学習に取り組むことができること。ページの下部に探究の過程を示したフローチャートがあり、生徒の主体的な探究の支援となっていること。そして、生徒に疑問や問題意識を持たせる対話例が示されており、生徒の主体的な学びにつながるよう工夫されていること。これらが前回の採択理由でございます。

なお、補足でございますが、数学と同様、令和6年4月に文部科学省が示しました令和7年

度使用中学校用教科書目録に掲載された理科の教科書のうち、大日本図書につきましては、令和2年に検定済みとなった教科書でございます。

説明は、以上でございます。

○**教育長** それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。

井口委員。

○**井口委員** まず、基礎的・基本的な学習の定着という観点から見て、基礎力の定着には、授業の始めに小学校や前学年で学んだことなどを確認し、復習してから本題に入れるように工夫されているのがよいと思います。東京書籍、大日本図書、教育出版、啓林館は小学校で学んだ内容を確認し、中学校で学ぶ内容への橋渡しがスムーズに構成されていると思います。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 授業で学習した内容を確認するために、東京書籍、教育出版、啓林館は「学びをいかして考えよう」「活用してみよう」という項目が教科書にあり、学習内容の定着の支援ができるようになっていると感じました。

○**教育長** 上原委員。

○**上原委員** 各社、本当によく考えられています。字や写真の大きさと合わせて見やすいものがよいと思っております。東京書籍や啓林館のものはレイアウトが各ページ同じであり、生徒にとって読みやすいと考えました。特に啓林館は、写真や図が紙面の端に配置されており、見やすいと実感いたしました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 探究的学習の充実については、理科の見方・考え方に着目できるようにすることが大変重要であります。東京書籍や啓林館は、観察・実験のページに見方・考え方に着目させる工夫がはっきりと示されております。また、啓林館は実験観察のページに探究過程がアイコンで分かるようになっており、生徒の主体的な探究の支援となっております。

○**教育長** 理科について、私からも少し申し上げたいと思います。主体的に学びを進めるためには、全てを生徒に任せ切るということではなく、生徒自身に問題意識を持たせる適切な支援を行っていくことも重要であると思います。東京書籍と啓林館につきましては、主体的で対話的な深い学びが実現できるように、生徒に疑問や問題意識を持たせる対話例というものが記載されておりまして、理科への関心が高まるような工夫がされていると見たところでございます。

ほかにいかがでしょうか。

田中委員。

○**田中委員** 今、教育長からお話いただいた探究心を促すような部分では、探究の流れが分か

りやすく、見通しを持って学習に取り組めるという教科書がよいと考えました。その中で、啓林館さんにおきましては、巻末に「探究シート」というものが用意されておりまして、生徒が主体的に探究的な学習を進めることができる効果があると考えました。

○教育長 上原委員。

○上原委員 私は、デジタルコンテンツの充実という観点から見させていただきました。今、生徒は1人1台タブレットの端末を持っております。授業で活用できるコンテンツが充実していると、授業内容の定着や観察・実験の手順の確認をすることができ、生徒の基礎的な学力の定着及び授業の効率化につながります。その中で、東京書籍と啓林館でオリジナルの実験・観察動画等が充実していると感じました。中でも啓林館は、2次元コードから動画の画面に直接つながり、生徒がすぐに見ることができるように工夫されていると実感いたしました。

○教育長 ほかにはいかがでしょう。

田中委員。

○田中委員 私も今、上原委員がおっしゃった啓林館さんのデジタルコンテンツについて、お話をさせていただきます。この啓林館さんの教科書においては、予習・復習ができるコンテンツがあると感じました。練習問題があるのですけれども、それに解説動画がついておりまして、さらに理科の用語もチェックできるという仕組みもあります。紙とデジタルを両方活用したハイブリッドの学習につなげるためにも、このデジタルコンテンツの充実という部分は非常に大事だと考えました。

○教育長 ほかにはいかがでしょう。よろしいでしょうか。

ここまでの委員の皆様のご意見を総合いたしますと、啓林館とのご意見が多いようでございます。理科につきましては、啓林館を採択することとしたいと思いますがよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、理科については啓林館を採択することといたします。

次に、音楽一般について審議を進めてまいります。音楽一般につきましては、現在、教育芸術社を採択しております。前回の教科書採択での採択理由を教育指導課長から説明してください。

教育指導課長。

○教育指導課長 ご説明申し上げます。音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、音楽と生活や社会、文化との結びつきや価値について考えさせるコラムや問いかけが多く掲載されていること。日本の伝統音楽や世界の民族音楽について曲数が多く、幅広い音楽に触れることができること。学びの地図が示され、生徒が学習の見通しを持つことができ、教員も年間計画や評価基準の参考として活用できること。これらが、前回の採択理由でございます。

説明は、以上でございます。

○教育長 それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 私は、主体的な学びの工夫についてという観点で見させていただきました。教育出版さん、それから教育芸術社さんともに学習の目当てが示されておりまして、生徒が見通しを持って主体的に学習できるようになっております。また、キャラクターの吹き出しを用いて、学習のヒントや学びを深めるアドバイスがあり、生徒の主体性を引き出しているなど実感いたしました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

井口委員。

○井口委員 私も同じように、主体的な学びという視点から見てみました。教育出版、教育芸術社ともに歌唱教材の各ページに写真などを掲載し、生徒が曲についてイメージしやすいように工夫されているように思いました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 生徒が課題意識を持ちながら、学習を進めるように工夫されているかという点では、教育芸術社はページ左側に音楽を形づくっている要素が示されており、工夫されているなと感じました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

田中委員。

○田中委員 学習のサポートをするデジタルコンテンツの充実についてなのですが、こちらは教育芸術社さんの教科書がよいなと感じました。特に歌唱教材のパート別音源が2次元コードを通じて聞けるようになっていて、楽譜を読むことが苦手な生徒においても、学びやすくなっていると感じました。これによって、授業だけでなく家庭学習でも活用することができて効果が高いと感じました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

井口委員。

○井口委員 私は、音楽の多様性についてという視点で見ましたが、教育芸術社は日本の伝統音楽や世界の民族音楽について曲数が多く、音楽の多様性を理解することができ、幅広く音楽に触れることができるようになっていたと感じました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 指導のしやすさについては、教育芸術社は1年間で学習する内容が分かるページが大変見やすく、教員が学習指導計画や評価基準を考える際の参考にできるようになっており

ます。この教科書を通して身につけられる力が一目で分かるようになっており、指導しやすくなっていると考えています。

○**教育長** ここまでの委員の皆様のご意見を伺いますと、教育芸術社とのお声が多いようでございます。音楽一般につきましては、教育芸術社を採択することとしたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** それでは、音楽一般につきましては、教育芸術社を採択することといたします。

次に、音楽の器楽合奏でございます。現在は、教育出版を採択しております。前回の教科書採択での採択理由を説明してください。

教育指導課長。

○**教育指導課長** ご説明申し上げます。リコーダーの学習におきまして、ねらい・学びのポイント、まとめの曲が見開きで掲載され、生徒が見通しをもって、主体的に学習に取り組む工夫があること。生徒が楽器の特徴を比較して、発表し合う活動など、学習の定着を図る工夫があること。伝統音楽や諸外国の音楽について扱っている曲数が多く、幅広い音楽に触れることができること。以上が、前回の採択理由でございます。

以上でございます。

○**教育長** 前回の採択では、音楽一般と器楽合奏の出版社が異なっております。この点について、指導する教員からは少し教えにくさがあるので、可能であれば一般、器楽合奏の出版社を統一してほしいといった意見が出されているところでございます。

まず、器楽につきましては、単独としてご意見を伺った上で、その上でこの点についても検討を進めてまいりたいと思っております。

それでは、まず器楽合奏そのものの評価ということで、ご意見があれば伺ってまいりたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 主体的な学びの工夫につきましては、教育出版、教育芸術社ともに学習目標や狙いが明確に示されており、何を学ぶかが明確になっておりまして、主体的な学びを促しております。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

井口委員。

○**井口委員** 私も同じく主体的な学びという点で見ましたが、教育芸術社は考えたいポイントを示し、生徒に問いかけるような内容になっています。生徒は、課題意識を持ちながら主体的に学習に取り組めるようになってきているように思います。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** やはり教育芸術社は、音楽一般と同じようにページ左側に音楽を形づくっている要素が示されており、音楽を学ぶ上で、大切な視点を意識することができると感じています。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○**上原委員** 私は、奏法の指導についてということで考えさせていただきました。教育出版、教育芸術社ともに、デジタルコンテンツでも動画で正しい奏法を確認しながら学べるようになっておりました。さらに、教育芸術社さんは、奏法についての説明が詳しく記載されているため、より音楽性を深めながら学ぶことができるように工夫されていると実感いたしました。

○**教育長** 奏法について見させていただいたときに、教育出版のほうは、指導の流れが大変分かりやすく、また教えることが明確な作りとなっているかなと考えます。一方、教育芸術社のほうは、基礎から発展まで教材が大変幅広く掲載されていることで、生徒の実態や教員の専門性を生かせる作りになっていると見ているところでございます。

ほかにいかがでしょうか。

田中委員。

○**田中委員** 先ほど上原委員からもデジタルコンテンツの充実について言及がございましたが、私も同様に感じております。教育芸術社さんの教科書については、一般と同様、器楽合奏についても充実していると感じます。それに加えて、2次元コードがついているのですけれども、そこに伴奏とか基本的な奏法といった形で、2次元コードが示す内容がどのようなものかを見ることができるようになっておりますので、コードを読み取る前に生徒が何を見に行くかということが理解できて、確認しやすいかなと思いました。このデジタルコンテンツによって、授業だけでなく、家庭学習でも活用することができるという点もよいと考えます。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ここまでの委員の皆様のご意見を総合いたしますと、教育芸術社とのお声が多いかと思えます。そしてまた、結果としてですけれども、音楽一般と器楽合奏の出版社がそろうということになります。器楽合奏については、教育芸術社を採択することといたしたいと存じますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** それでは、器楽合奏につきましては、教育芸術社を採択することといたします。

次に、美術の審議をしてまいります。美術につきましては、現在、開隆堂出版を採択しております。前回の採択理由を説明してください。

教育指導課長。

○**教育指導課長** ご説明申し上げます。絵や写真に番号が振られており、授業において説明が

しやすいこと。学習のポイントが示されており、生徒の主体的な学びの支援につながるような工夫がされていること。美術を学ぶ意義について、著名人のコメントが示されており、生徒が自分なりの表現や感じ方の発見につながっていること。これらが、前回の採択理由でございます。

説明は、以上でございます。

○**教育長** それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 私は、まず教科書を手を取ったとき、開隆堂出版さんの表紙に驚かされました。表紙を触ったときに、タイルの質感ですとか筆跡を感じられたので、生徒の興味を引くような工夫がされているなど感じました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

田中委員。

○**田中委員** 私も表紙について言及させていただきます。美術というのは表現を学ぶ教科だと考えておりまして、表現をして相手にどう感じてもらうのか、そこが大切かなと考えております。この商品を手にとるときにパッケージングというのは非常に重要で、物を表す、消費者に最初に印象づける表現かなと思っております。その点で、この開隆堂出版さんの表紙の工夫というのは、非常にほかと違うなという印象がありまして、生徒が学ぶ意欲をさらに高める仕掛けになっているのではないかと考えております。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 光村図書は、浮世絵の紹介で浮世絵がすられていた紙質を再現しており、本物を感じるように実感いたしました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○**上原委員** 私、レイアウトとか作品例、技法についてという観点で見させていただきましたけれども。日本文教出版さんの屏風絵の紹介では、ページを折りますと実際に屏風の形にできるようになっておりまして、平面と屏風では作品の印象の違いが分かるように、そのように工夫されているなど感じました。

○**教育長** 私は、生徒の作品という点から見させていただいております。開隆堂出版と日本文教出版につきましては、生徒作品を多く掲載しておりました。特に開隆堂出版は、生徒作品の写真が大きく取り上げられており、同年代の作品を参考にしやすいということで、生徒はヒントを得やすく、表現が苦手な生徒も意欲が湧くような工夫になっているなど見たところでございます。

ほかにはいかがでしょうか。

井口委員。

○井口委員 私は、技法に関しては、開隆堂出版、日本文教出版、ともに学びの資料が充実しているように思いました。

○教育長 また、教科書というところで見やすさという観点では、私も美術の教科書ということで見させていただいたところなのですけれども。美術を鑑賞する、作品を見るという点では、紙の裏写りが少ないほうが望ましいのかなと考えております。その点から申しますと、開隆堂出版のものは、紙質等の配慮の結果なのだと思いますが、裏写りが比較的少なくてよいかなど考えたところがございます。

ほかにはいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 開隆堂出版は、ページの見やすさがあり、美術史の紹介では日本美術と世界美術のつながりが示されており、日本美術と世界美術のつながりが分かりやすくなっております。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

これまでの委員の皆様のご意見を総合いたしますと、開隆堂出版とのお声が多いようがございます。美術につきましては、開隆堂出版を採択することとしたいと存じますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、美術につきましては、開隆堂出版を採択することといたします。

次に、保健体育の審議を進めてまいります。現在は、大日本図書を採択しているところがございます。前回の教科書採択の理由を説明してください。

教育指導課長。

○教育指導課長 説明申し上げます。学習の流れが分かりやすく示され、見通しを持って学習できるようになっており、さらに話し合い活動も多く設定されていて、主体的・対話的な学習ができるようになっていること。全ての単元で、左側のページに本文、右側のページに資料を分けて示すことで学習が進めやすく、理解を深めることができるようになっていること。心肺蘇生法の全体の手順やAEDの使い方について、折り込みページに掲載されておりますので、ページをめくらずに実習できるようになっていること。これらが前回の採択理由でございました。

なお、補足でございますが、令和6年4月に文部科学省が示した令和7年度使用中学校用教科書目録に掲載された保健体育の教科書のうち、大日本図書につきましては令和2年に検定済みとなった教科書でございます。

説明は、以上でございます。

○教育長 ただいまの説明も踏まえまして、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思いま

す。いかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 全体の構成・分量の観点から、東京書籍と学研は学習の流れが課題発見、課題解決、活用するという生徒主体の流れになっております。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

井口委員。

○**井口委員** 私も同じく全体の構成・分量について見てみましたが、生徒が見やすいように各社、レイアウトを工夫しているなど感じました。中でも、大日本図書は見開きのページの中で、左側が本文、右側が資料になっています。東京書籍は、各ページ、左側に本文、右側に資料になっていて、本文と資料も罫線で区別されています。また、資料がコンパクトにまとめられており、見やすいレイアウトになっていました。

○**教育長** 私からは、性の多様性についての取扱いについて申し上げたいと思います。一人一人の個性を尊重し、多様性を受け入れる社会の実現が求められている中で、東京書籍と大修館、学研につきましては、性の多様性についての記載がきちんとされていると見ております。

ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 私も性の多様性について、子どもたちにどう受け入れていただくかということは大切だと思います。東京書籍は、唯一本文で「異性などほかの人」と表現することで、性的な関心が高まる対象を異性に限定していません。また、大修館は、性に悩んだときの相談先や具体的な手立てが載っていました。学研は、「探究しようよ！」のページの中で、性意識は多様で個人差があるということに触れておりました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

田中委員。

○**田中委員** 私から、前回の採択のポイントにもありましたけれども、心肺蘇生法についての記載が大事かなと思っております。心肺蘇生をやる機会がないのが一番いいのですけれども、何かあったときに実用的であるという意味で大事かなと思っております。こちらは各社さんの教科書におきまして、手順を教科書で学習し、動画で胸骨圧迫の方法を確認できるように2次元コードが用意されておりました。また、その他デジタルコンテンツについては東京書籍さんの教科書が一番豊富でございまして、動画や思考ツール、シミュレーション、章末問題などがございました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○**上原委員** 私は、心肺蘇生のやり方を学校で学ぶということが非常に大切だと思っておりま

す。実は私の知り合いが倒れてしまった際、救急車が来るまでに子どもさんが心肺蘇生をして、そして助かったということを伺いました。お子さんにどこかで学んだのかと聞いたら、中学校の保健体育の授業でやったことを覚えていたというのです。こういうことは、田中委員のおっしゃったようにやらないに越したことはないですけれども、どうしても必要だといったときに、学校で学んだことをそのまま実践できたということは非常に大切だなと感じました。心肺蘇生についての説明が分かりやすいということは、本当に大切であると考えます。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

井口委員。

○井口委員 私は、巻末資料の充実という点で、東京書籍に注目しました。巻末に、「巻末スキルブック」があり、心肺蘇生法を含め、20のスキルを分かりやすくまとめた実習資料があります。リラクゼーションの方法やAEDの使い方、手洗いの方法など、実際に日常生活な保健衛生についての情報を得ることができるように工夫されています。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ここまでの委員の皆様方のご意見を総合いたしますと、東京書籍というお声が多いように感じますけれども、いかがでしょうか。保健体育につきましては、東京書籍を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、保健体育につきましては、東京書籍を採択することといたします。

次に、技術について審議をしてみたいと思います。技術につきましては、現在、開隆堂出版を採択しております。前回の採択理由の説明をしてください。

教育指導課長。

○教育指導課長 ご説明申し上げます。授業の導入で「話し合ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」という学習課題が提出されまして、目当てが明確になっていること。2次元コードから、豊富な動画やシミュレーション、補足資料にアクセスすることができ、自学自習に活用できること。実習例につきましては、紙面を広く取り、図表を大きく掲載していることで、生徒にとって活用しやすいこと。以上が、前回の採択理由でございます。

説明は、以上でございます。

○教育長 委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 最近の技術科は、情報教育がやはり大切であると考えました。各教科書、情報教育とプログラミングについては、遜色はないと感じます。また、職業人のインタビューがどの出版社にも掲載されており、学んだことが社会でどう生きるのかが分かるようになっていて、よいなと感じました。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

井口委員。

○井口委員 私は、全体の分量を見てみたのですけれども、技術の授業時数は週に1回、3年生では2週に1回と、他の教科と比べると少なくなっています。ところが、どの教科書も大変量が多いと、そういう観点から感じました。適切な学習内容、見やすさ、使いやすさに配慮することが必要であると考えています。

○教育長 田中委員。

○田中委員 今、井口委員がおっしゃっていたように、使いやすさの観点ですね。こちらで申しますと、私としては開隆堂出版の教科書において、それぞれの章の始めに学習の流れ・見方・考え方が紹介されていまして、学習の見通しが分かりやすいと感じました。

また、谷部委員からも情報教育の必要性についてお話いただきましたけれども、プログラミングの実習例の記載がございまして、こちらもプロセスが非常に分かりやすくなっていると感じます。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 東京書籍さんは、学習の流れが、知る・課題解決・社会の発展と統一されておりまして、学習したことが社会でどのように生かすかということについては、考えやすくなっているのではないかなと思います。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 開隆堂出版は、問題解決の流れを提示しており、見通しを持って学習できるよう工夫されています。また、章ごとの学習課題がきちんと示されています。

○教育長 技術科につきましては、中学校で初めて出合う教科でございます。そのために、小学校とのつながり、また授業ガイダンスの部分も重要であると思っておりますけれども、この観点についてはいかがでしょうか。

井口委員。

○井口委員 今、教育長がおっしゃった小学校・他教科とのつながりという視点で見ると、開隆堂出版は各単元の始めに、小学校や他教科とのつながりが整理されている点がとてもいいと思いました。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ここまでの委員の皆様のご意見を総合いたしますと、開隆堂出版とのご意見が多いかと存じますけれども、技術につきましては開隆堂出版を採択することとしたいと存じますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** それでは、技術につきましては、開隆堂出版を採択することといたします。

次に、家庭につきましては、審議をしております。現在は、開隆堂出版を採択しております。前回の採択理由のご説明をお願いします。

教育指導課長。

○**教育指導課長** ご説明いたします。調理や被服の実習では、手順の説明を横の流れで示すとともに、食べ物の写真を大きく掲載していることから、生徒にとって見やすいということ。SDGsについて、全ての単元においてアイコンで提示するなど、環境面に関する記述内容が充実していること。防災につきましては、巻末に災害時の備えについてチャートで示すとともに、被服分野では非常持出袋の実習例を掲載していること。以上が、前回の採択理由でございます。

説明は、以上でございます。

○**教育長** それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

井口委員。

○**井口委員** 先ほどの技術と同じように、授業時数が少ないために、大切なことが学べて、調理実習や制作物が多く紹介されているものがよいと思います。

○**教育長** 家庭科につきましては、社会に出るために、自ら、衣食住など基本的な知識、技能を身につけ、性別関係なく自立するため、全生徒に対して学習が必要な教科であることが伝わってくる教科書がふさわしいと私としても考えているところでございますけれども、この点についていかがでしょうか。

田中委員。

○**田中委員** 今、おっしゃっていただいた自立については、社会に行く中でいろいろな人と関わって共生していくことと合わせて自立と共生というところが大事なかと考えておりました。この点については、東京書籍さんや開隆堂出版さんが触れておられました。特に開隆堂出版さんの内容につきましては、考えを深める問いがありまして、生徒が生活について深く考えるよう工夫されていると感じました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○**上原委員** 私も多様性や自立について考えてみました。開隆堂出版は、表紙で、性別・年齢・国籍・障害の有無など様々な人が描かれております。様々な立場の人でも、自立して、共に生活していくというメッセージ性を強く感じるところであります。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

田中委員。

○**田中委員** こちらも中学校から始まる教科というところで、小学校とのつながりについて考

えてみました。小学校でいろいろな年間の年中行事などに触れてきている生徒さんたちでございませけれども、教育図書さんにつきましては、経験してきている年中行事の紹介が最初に記載されており、その年中行事を通じて、親しみやすさを感じるのではないかと感じました。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。

井口委員。

○**井口委員** 開隆堂出版の教科書は、単元の始めに小学校で学習したことが記載されています。今までの学習とこれからの学習のつながりが分かり、学習の見通しが持ちやすくなっているように思います。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 社会生活とのつながりにつきましては、学習のまとめや振り返りが3社とも掲載されています。開隆堂出版は、「学習のまとめ」で社会に出たときに自分はどうのように行動するか考える項目があり、思考を深められるよう工夫されています。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 社会に出たときに困らないために、公的な支援に関する知識を得ている必要もあると感じています。開隆堂出版は、公的支援について記載が多く、生徒が将来安心して生活できるのではと感じました。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ここまでの委員の皆様のご意見を総合いたしますと、開隆堂出版を支持されるご意見が多いようでございます。家庭科につきましては、開隆堂出版を採択したいと存じますがよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** それでは、家庭科につきましては、開隆堂出版を採択することといたします。

次に、英語について審議をいたします。英語につきましては、現在、東京書籍を採択しております。前回の採択理由を説明してください。

教育指導課長。

○**教育指導課長** ご説明いたします。4技能5領域のバランスが取れており、既習事項を繰り返し活用しながら学習を進めることができるという点。1年生の単元の始めでは、本文の導入に小学校で学習した表現を活用する活動を設定するなど、小学校との円滑な接続を図る工夫があること。また、2次元コードを活用して、各単元の導入場面の動画や、語彙、本文等の音声を視聴し、本文のテキスト情報を併せて閲覧できるという点。以上が、前回の採択理由でございます。

説明は、以上でございます。

○**教育長** それでは、委員の皆様のご意見を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 基礎・基本の定着というところに着目しますと、各社単元の始めには「めあて」、単元の終わりには「振り返り」が設定されており、見通しを持って学習できるように工夫されていました。また、東京書籍、開隆堂出版、光村図書出版、啓林館は1年間の学習内容を振り返る「CAN-DOリスト」が掲載され、その学年の目標に到達できているのか、自己評価し、次の学びにつなげ、主体的に学習に取り組む態度を育てる工夫がされていると感じました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

田中委員。

○**田中委員** 主体的な学習に関連して、デジタルコンテンツの充実について考えました。デジタルコンテンツにつきましては、各社さんとも充実しているという印象を受けております。その中でも東京書籍さん、光村図書出版さん、啓林館さんにおきましては、解説動画、アニメーション動画、発音や発声のチェック機能、学習シートの活用など、生徒の学びをデジタルコンテンツで支援できるようになっていると感じました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

井口委員。

○**井口委員** 外国語の必須能力を総合的に育成するという観点から見ると、4技能5領域の割合のバランスがよいのは、東京書籍と光村図書出版であると思います。さらに、東京書籍は話すことの割合が多いため、外国語によるコミュニケーションの見方・考え方を学ぶ機会が多くなっています。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 単元の導入につきましては、各社とも単元の始めにおいて写真や絵を大きく扱い、活動のゴールを示し、生徒が興味・関心を持ちながら学べるように工夫しております。特に東京書籍は単元のまとまりを意識したユニットの学習の流れになっており、スモールステップで学習を進められるよう構成されているため、確かな英語力を身につけられるよう工夫されております。

○**教育長** 葛飾区では、小学校の段階からの英語教育にも大変充実に力を入れているところです。ALTの配置、また小学校5年生・6年生のTGG英語体験プログラムの実施なども行っておりまして、英語によるコミュニケーション能力の育成を図っているところでございます。そのようなことからいたしますと、小中の円滑な接続ということもまた大変重要と考えているところでございますけれども、そのような観点ではいかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 私も、その小中の接続ということについて考えてみました。東京書籍さんは、1年生の単元序盤で、小学校で学習した表現を使う活動「Enjoy communication」がユニット4まで記載されております。小学校と中学校の連携を意識しているなど実感しました。

また、ユニットとユニットの間に、小学校で学習した単語を用いて、音と文字の関係を学ぶことができるように工夫されていると実感いたしました。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ここまでの委員の皆様のご意見を総合いたしますと、東京書籍とのご意見が多いようでございますけれども、英語につきましては、引き続き東京書籍を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、英語につきましては、東京書籍を採択することといたします。

次に、道徳について審議をしてみたいです。道徳につきましては、現在、東京書籍を採択しております。前回の採択理由を説明してください。

教育指導課長。

○教育指導課長 説明申し上げます。いじめ防止や生命尊重についてユニットが設定され、重点的に学ぶ工夫がされていること。生徒の作文が多く、身近に感じることができたり、自分のこととして考えたりできるように工夫されていること。教科書に教材ごと及び学期ごとに評価を記述できる欄がありまして、教員が継続的に生徒の学習状況を把握しやすい工夫があること。以上が、前回の採択理由でございます。

説明は、以上でございます。

○教育長 それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいります。いかがでしょうか。

井口委員。

○井口委員 教材についてなのですが、教育出版と学研はSDGsや多様性についてユニット学習を設定していて、力を入れて指導できるようになっています。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

田中委員。

○田中委員 先ほど教育指導課長から、いじめ防止についてユニットが設定されていて、重点的に学ぶことがされている点が前回教科書選定でポイントになったとありましたけれども、その点は今回も大事ななと思っております。東京書籍さん、教育出版さん、光村図書出版さん、日本文教出版さん及びあかつき教育図書さんにおきまして、いじめ防止のユニット学習が設定されていまして、重点的に学ぶ工夫がされていると感じました。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 全く視点が違うのですけれども、光村図書出版には、第3学年に「こちら葛飾区亀有公園前派出所」、日本文教出版には、第1学年に「キャプテン翼」があり、葛飾区に関する教材が掲載されているのは、親しみやすくてよいのではと感じました。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 巻末の資料につきましては、日本教科書の巻末に掲載されている「ウェルビーイングカード」は、かつしか教育プランの考えとつながっております。光村図書出版の巻末に掲載されています「学びの道具箱」では、思考ツールが紹介されており、考えを深める際に活用できるようになっています。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 同じく巻末資料という点では、東京書籍の巻末に掲載されている「心情円」は、生徒の心情を可視化するのによいツールだと思っています。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。

上原委員。

○**上原委員** 私は、音声や朗読の仕方について考えさせていただきました。東京書籍、光村図書出版、日本文教出版のデジタルコンテンツには、速度調整機能付きの朗読音声がありまして、生徒の実態に応じて、選択して視聴することができると思います。これはとても大切だと思います。早く聞きたい人もいれば、ゆっくり聞きたい人もいると思うので、こういう機能があるということはとても喜ばしいことかなと思います。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 主体的・対話的な学びにつきましては、東京書籍、光村図書出版は小学校の道徳で扱った教材を掲載しており、生徒が主体的に学習したり、過去の自分と比べて考えたりすることができるようになっております。

○**教育長** やはり道徳につきましては、主体的・対話的な学びが大変重要であると考えております。この点につきましては、本当に各社とも役割演技、また話合いを要する活動などにつきましても具体的に示されていて、主体的・対話的な学びの実現につなげられるような工夫がされていると見ております。

道徳は、物事を広い視点から多面的・多角的に考えることが大切であると思います。特定の価値観や結論を押しつけることのないように、問題解決的な学習、そして体験的な学習を取り入れたり、対話や議論を深めたりする工夫が大変重要だと考えておりますけれども、この点につきましては、いかがでしょうか。

井口委員。

○井口委員 今教育長がおっしゃった、物事を広い視野から多角的・多面的に捉えるとか、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れたり、対話や議論を深めたりするという視点から見ると、光村図書出版には「今日の哲学」というページがあります。これは自ら問いを見つけ、その問いについてグループで話し合う活動が設定されています。答えのない問いについて議論する時間はとても重要であるように思います。

○教育長 本当にこれからの社会を生き抜く力を育むためには、多様な見方で物事を捉えるということが、大変大事だと考えております。光村図書出版の「見方を変えて」という問いが設定されていることは、私としても非常に評価ができる点であろうかと考えているところでございます。

ほかにはいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 やはり光村図書出版なのですが、各学年の巻頭に「道徳の授業を始めよう」が掲載されており、答えは一つではないと明確に示されているのがいいのではと感じました。そのページには、「一人一人、感じ方も考え方も異なる。だからこそ一つの正解を目指すのではなく、自分なりの答えを見つけよう。」と記載されております。これは、道徳の学習において、とても重要なことだと私は考えています。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

道徳につきまして、これまで委員の皆様のご意見を総合いたしますと、光村図書出版とのお声が多いようでございますが、道徳につきましては、光村図書出版を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ありがとうございます。それでは、道徳につきましては、光村図書出版を採択することといたします。

以上で、令和7年度の中学校教科用図書が採択されました。ここで、採択する発行社名を確認いたします。採択結果の確認をお願いします。

教育指導課長。

○教育指導課長 それでは、本日採択されました令和7年度中学校における教科用図書の発行社を確認させていただきます。

国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。社会地理的分野、教育出版。社会歴史的分野、教育出版。社会公民的分野、東京書籍。社会地図、帝国書院。数学、啓林館。理科、啓林館。音楽一般、教育芸術社。音楽器楽合奏、教育芸術社。美術、開隆堂出版。保健、東京書籍。技術、開隆堂出版。家庭、開隆堂出版。外国語英語、東京書籍。道徳、光村図書出版。

以上でございます。

○**教育長** よろしいでしょうか。採択理由一覧表につきましては、これまでの審議を踏まえ、事務局において作成をお願いします。

以上で、令和7年度使用中学校教科用図書の採択審議を終了いたします。

総合教育センター教育支援課長。

○**総合教育センター教育支援課長** 続きまして、特別支援学級の教科書について説明をいたします。特別支援学級の教科書につきましては、義務教育小学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第14条に規定されているとおり、毎年度、教科用図書を採択することとなっております。したがって、教科書会社は令和7年度に使用する特別支援学級の教科用図書について、採択を行うこととなります。

なお、学校教育法附則第9条の規定により、特別支援学級で使用する教科用図書については、検定教科書以外の教科用図書の使用が認められております。

ご審議のほどお願いいたします。

○**教育長** それでは、令和7年度使用特別支援学級教科用図書の採択の審議に入ります。

資料2「令和7年度使用教科用図書採択一覧表（小学校特別支援学級用）」及び資料3「令和7年度使用教科用図書採択一覧表（中学校特別支援学級用）」について、ご意見はございませんか。

谷部委員。

○**谷部委員** 資料2及び資料3の使用教科用図書選択一覧に記載されている教科用図書は、小学校及び中学校の特別支援学級設置校において、各学校が調査研究し、校長が責任をもって報告したものであると認識しています。

各学校の児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性に最もふさわしい内容のものでありますので、これによろしいのではないかと思います。

○**教育長** ほかにご意見はございますでしょうか。

それでは、お諮りをしたいと思います。「令和7年度使用教科用図書採択一覧表（小学校特別支援学級用）」及び「令和7年度使用教科用図書採択一覧表（中学校特別支援学級用）」につきましては、一覧表に記載されている図書を採択することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○**教育長** 異議なしとのことですので、この一覧表のとおり、令和7年度使用教科用図書採択一覧表（小学校特別支援学級用）」及び「令和7年度使用教科用図書採択一覧表（中学校特別支援学級用）」を採択することに決定をいたしました。

教育指導課長。

○**教育指導課長** それでは、続きまして、令和7年度使用教科用図書（小学校用）のご審議を

お願いいたします。

小学校では、令和5年度に採択をいたしましたので、令和7年度は引き続き同一の教科用図書を使用することになっております。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○教育長 令和7年度使用教科用図書（小学校用）につきましては、令和5年度に採択が行われ、令和7年度使用については同一の教科書を採択することとなっております。

そこで、資料4「令和7年度使用教科用図書（検定教科書）採択一覧表（小学校用）」のとおり採択することになりますが、ご意見がありましたらお願いしたいと思います。

壺内委員。

○壺内委員 小学校では、この一覧表の教科書を使って授業を行い、十分に活用されていると聞いております。したがって、引き続き一覧表にある教科用図書を採択することによってよろしいと考えております。

○教育長 ほかにご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。資料4「令和7年度使用教科用図書（検定教科書）採択一覧表（小学校用）」につきましては、一覧表に記載されている図書を採択することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長 異議なしとのことでございますので、この一覧表のとおり「令和7年度使用教科用図書（検定教科書）小学校用」を採択することに決定いたしました。

以上で、令和7年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択につきましては、全ての審議が終了いたしました。

今回の議案に関わる審議につきましては、教科用図書の採択に関する検討委員会の報告書、議事概要などは公正確保の観点から、東京都教育委員会に報告する8月31日まで時限秘としたいと思います。ただし、採択結果につきましては、区民の関心も高いことから教育委員会終了後、直ちに公表したいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長 異議なしとのことでございますので、事務局においてはよろしく申し上げます。

また、出席者の皆様におかれましても、この点をご承知おきいただき、ご配慮くださいますようお願いをいたします。

教育指導課長。

○教育指導課長 それでは、ただいまの決定によりまして、まずは本日の採択結果につきましては、採択結果を取りまとめて一覧表にしたものを即日公表させていただきます。また、文書につきましては、東京都教育委員会への報告後、また事務処理が終了いたしましたところで、

9月1日以降、区政情報コーナーにおいて公表したいと考えております。

以上でございます。

○教育長 ただいま教育指導課長から、本日の採択結果以外の文書の公表につきまして説明がございました。この取扱いでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 異議なしとのことでございますので、よろしくお願いいたします。

以上で、本日の議事につきましては、全て終了いたしました。その他、各委員からご意見、ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これをもちまして、令和6年教育委員会第8回定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会時刻 11時43分